

## 精神保健福祉に関する制度とサービス

問題 61 障害支援区分の認定に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 2次判定はコンピューターソフトを用いて行われる。
- 2 障害支援区分は5段階で認定される。
- 3 介護給付費を受ける場合は認定が必要となる。
- 4 認定の審査会は原則として都道府県に置かれている。
- 5 心身の状態を総合的に判定する。

問題 62 次のうち、精神障害者保健福祉手帳2級を取得していることによって、経済的負担を軽減できる制度として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 J R旅客運賃の割引
- 2 所得税の障害者控除
- 3 有料道路(高速自動車国道)の通行料金の割引
- 4 贈与税の非課税
- 5 自動車取得税の減免

問題 63 次の記述のうち、「障害者総合支援法」に基づく精神障害者に対する基幹相談支援センターの役割として、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 保健所，市町村，関係機関に対する技術援助に取り組む。
- 2 精神障害者の地域での相談支援体制の強化に取り組む。
- 3 精神科病院への地域移行に向けた普及啓発に取り組む。
- 4 住民の精神的健康の保持増進に取り組む。
- 5 精神科救急医療体制の整備に取り組む。

(注) 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 64 Kさん(38歳，女性)は，入退院を繰り返す中で，すっかり退院への自信もその後の生活への希望も失っていた。その時，一足先に退院したLさん(40歳，女性)が通院の度に声をかけてくれ，新たに始めたアパートでの生活について楽しそうに話してくれた。その後，Kさんも退院と同時に一人暮らしを始めた。地域での生活に慣れてきたKさんは，Lさんのように，同じ病気を有する人の役に立ちたいと思い，通院先で担当のM精神保健福祉士にそのことを話すと，P市があるスタッフを探していると教えてくれた。そのスタッフとは，退院に不安を持つ入院中の人を訪ねて，同じ経験を持つ人の立場から，退院に前向きな気持ちになれるように支援するものであった。

次のうち，そのスタッフにふさわしい名称として，適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ジョブコーチ
- 2 ゲートキーパー
- 3 ケアワーカー
- 4 スーパーバイザー
- 5 ピアサポーター

問題 65 更生保護制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 更生保護施設は、保護観察対象者等のための通所施設である。
- 2 BBS会は、更生保護女性会の略称である。
- 3 保護観察官の任期は、2年であるが再任可能である。
- 4 協力雇用主の業種は、サービス業が約半数を占める。
- 5 保護司は、非常勤の国家公務員である。

問題 66 「医療観察法」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 指定入院医療機関は、都道府県知事により指定される。
- 2 入院先は、指定入院医療機関の中から付添人が決定する。
- 3 指定医療機関の管理者は、地方裁判所の長と連携を図り、社会復帰に関する相談、援助などを行う。
- 4 入院患者の外出、外泊は、外部評価会議の承認が必要である。
- 5 指定入院医療機関の管理者の申請による退院は、地方裁判所の審判により決定する。

(注) 「医療観察法」とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」のことである。

問題 67 次のうち、「医療観察法」の指定入院医療機関に入院している者又はその保護者による処遇改善の請求先として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 厚生労働大臣
- 2 法務大臣
- 3 都道府県知事
- 4 地方裁判所長
- 5 保護観察所長

問題 68 次のうち、精神保健参与員を指定する機関として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 検察庁
- 2 精神保健福祉センター
- 3 保健所
- 4 地方裁判所
- 5 保護観察所

問題 69 Q市には「障害者総合支援法」に基づく協議会があり、相談支援に関する専門部会を設置している。その会議で、Q市で生活している精神障害者が週末に集える場を新たに作る必要があるとの意見が出された。そこで、市内の関係する事業所の利用者を対象とする質問紙調査を実施することになった。

次の記述のうち、調査の倫理的配慮として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 調査の依頼文書に、Q市で生活している精神障害者のニーズを把握し、社会資源開発に活用するなどの調査目的を記載する。
- 2 匿名性を確保するため、調査票に回答者のイニシャルを記入してもらう。
- 3 関係機関に対し、調査に関する相談があったときには、調査協力を拒否した場合に生じる不利益について説明するよう依頼する。
- 4 調査結果を入力したデータは、協議会での情報共有を図るため、誰でも内容を確認できる場所で保管する。
- 5 調査終了後、協議会で活用するため個票の二次利用を行う。

## (精神保健福祉に関する制度とサービス・事例問題)

次の事例を読んで、問題 70 から問題 72 までについて答えなさい。

### [事例]

当時 20 歳代の A さん(男性)は、統合失調症の診断で精神科の X 病院に市長の同意による入院となった。A さんが入院する前年、高度経済成長の最中、東京オリンピックが開催され、その数か月前には駐日アメリカ大使ライシャワー氏が精神障害のある少年に刺されるという事件があり、精神科医療が大きく揺れた年でもあった。(問題 70)

A さんは、身寄りもなく、生活保護を受けながら入院生活を送ることになった。その後 A さんは院内作業をするなどしていたが、外出は一度もすることがなかった。A さんは元々真面目な性格でおとなしく、病棟スタッフからも信頼を得て、病棟患者会での役割を受け持つなどして過ごした。そして A さんは、閉鎖病棟で地域社会とは関わりのないまま 20 年余りの歳月が流れた。このような中で宇都宮病院事件が起きたことを契機に法改正が行われた。そこで 40 歳代になった A さんは、新しい入院形態について説明を受けた。A さんが入院に同意をすると、入院に関する告知とともに新しい入院形態に変更された。(問題 71)

その後、退院する気持ちが強くなった A さんは、他人の手を借りるのは申し訳ないと、入院形態を変更した 1 年後には自らアパートを探して退院した。退院後、A さんは、生活が次第に乱れ外来通院も滞りがちとなり、半年後には再入院となった。A さんはすっかり自信を失っていた。A さんの担当となった B ソーシャルワーカーは、4 年がかりで再び A さんのアパート暮らしに対する希望を引き出した。B ソーシャルワーカーは、50 歳代になった A さんの状況について一人暮らしは難しいが見守りがあれば地域での生活は可能であると判断した。B ソーシャルワーカーは、保健所の C 相談員に相談したところ、これまで予算措置として実施されていた制度がこの時点で法定化したこともあり、それを活用しようという話になった。(問題 72)

現在、A さんは 70 歳代になったが、地域での生活が継続している。

問題 70 次のうち、Aさんが入院するに当たり適用された法律として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
- 2 精神病患者監護法
- 3 精神保健法
- 4 精神衛生法
- 5 精神病院法

問題 71 次のうち、Aさんの新しい入院形態として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 応急入院
- 2 医療保護入院
- 3 任意入院
- 4 措置入院
- 5 緊急措置入院

問題 72 次のうち、C相談員が紹介した制度として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神障害者生活訓練施設
- 2 精神障害者地域生活援助事業(グループホーム)
- 3 精神障害者通院医療費公費負担制度
- 4 精神医療審査会
- 5 精神障害者保健福祉手帳